



さくらつ子

【重点目標】 よさを見つけ 高め合おう

No. 11
R3. 10. 26発行
発行責任者
校長 小関 洋

■ プラスチックごみ問題について考える

先日の全校集会で、6年生 [REDACTED] 君の読書感想文「クジラのおなかからプラスチック」を紹介しました。君は、このままだと魚よりプラゴミが多い海になってしまふことに衝撃を受けたとのことです。今月の11日付の新聞にも、「ウミドリの52%が化学物質汚染・プラスチック摂取原因」という記事が掲載されました。また、約3年前になりますが「ペットボトルの水からもマイクロプラスチックが検出」されたニュースもありました。既に私たちも魚や水からプラスチックを摂取していると考えた方がいいかもしれません。日本ではやっとレジ袋の有料化が始まりましたが、我が家でプラゴミを探すと、惣菜のトレー、ペットボトル、プリンのスプーンなどたくさんありました。学校でも、給食で毎回ストローを使用しています。児童・職員約540人。ストローを袋から取り出すので、ストローと袋で2倍の1080個のプラゴミを出していることになります。私はプラゴミができるだけださないようにストローを使わずに飲んでいることを子どもたちに話したら、その日の給食で、1年2組は全員ストローを使わないで飲むことに挑戦していました。私たちが自然を汚せば、いずれその汚れは私たちに返ってきます。君が最後に書いたように、ゴミができるだけ「減らすこと」、ゴミを出しても「正しく処理」することが大事ですね。



6年 [REDACTED]

「クジラのおなかからプラスチック」このショッキングな題名にドキッとして、ぼくはこの本が気になった。題名は明らかに暗いのに、表紙の絵はカラフルで明るくギャップがあった。たくさんの子どもたちに読んでもらいたいからかなあと思い、ぼくはこの本を読み始めた。

本を開くとすぐに(まったくなし！海のプラゴミ汚染。このままでは2050年に海の魚の重量を上回るとも言われるプラスチックごみ)と帯に書かれていた。プラゴミの問題は前からニュースなどで知つてはいたけれど、魚よりプラゴミが多い海になつてしまふなんて…。そんなにひどいとは思わなかつたし本当にそうなつてしまつたらとても悲しい。

プラゴミは海を汚すだけでなく、海の生き物たちを苦しめていることがこの本を読んでよくわかつた。本の題名にもよくあるように、2018年の5月にタイの海岸に打ち上げられたクジラの胃から、80枚を超えるプラスチックの袋が出てきたそうだ。重さにして約8kg。このクジラはプラスチックの袋をたくさん飲みこんでしまつたために、本当に必要な栄養をえさからることができなくなつて死んでしまつたらしい。クジラだけでなく、ウミガメもえさのクラゲとまちがえてプラスチックの袋を食べてしまうそうだ。

ぼくは、ごみをポイ捨てしたことはないけれど、プラゴミで苦しんでいる生き物の写真を見て、すごく申し訳ない気持ちになつた。プラスチックの袋などは、ぼくたち人間が作り、人間が使つたものだからだ。ぼくは前に海に行った時に花火の袋が捨てられている

のを見た。いやな気持ちになつたけれど、そのまま帰つてしまつた。あの時のゴミも風にふかれたり波にさらわれたりして海に入つてしまつかもしれない。そう思つたら心がモヤモヤした。次は絶対に拾つて帰ろう。この本を読みながらぼくはそう思つた。

米国の研究者たちが調べたところ、海に面した192カ国が2010年の1年間で作ったプラスチックは2億7500万トンで、そのうち480万～1270万トンのプラスチックがごみとして海に流れ出たことがわかつたそうだ。世界中でたくさんのプラスチックが作られたくさんのごみも海に流れ、年々増え続けていることがよくわかる。考えてみると、ぼくたち人間の生活には、プラスチックの物がたくさんあふれている。成形しやすく軽くて丈夫などても便利な素材だが、ごみになつた時に自然に分解されないプラスチックは、様々な深刻な問題を起こしている。

日本でもレジ袋有料化などプラゴミ削減の働きがあるが、工夫してごみをへらすことはできるし、正しく回収し処理することが大事だと思った。きれいな海の未来のため、生き物を守るために、世界中のみんなで協力して解決していくかなければならない問題だと思う。



■ 入賞おめでとうございます。

【福島県読書感想文コンクール】

[特選] 1年 [わたしも「むしガール」]

【相馬地方読書感想文コンクール】

[入選] 2年 [「もっと大きおべんとう」]

3年 [「ともだちや」を読んで]

3年 [「メガネをかけたら」を読んで]

4年 [「宇宙人のいる教室」を読んで]

6年 [環境問題について考える]

6年 [「いのち」のすいかた]を読んで]

～ お知らせ ～

○ 教育実習生として本校出身の「大河内美穂」さんが4年2組を拠点として研修しています。29日までです。

○ 10月31日(日)9:00～15:00スポーツアリーナ そうま、中央公民館で「相馬市こども科学フェスティバル」が開催されます。そうま市民まつりと同時開催です。ご家族でお楽しみください。